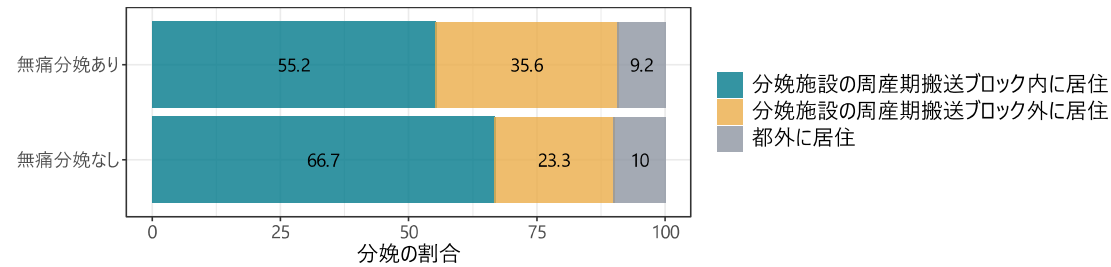


【概要版】 母子医療統計を用いた臨床データ分析①

無痛分娩の実施体制に関する分析評価 ・ 無痛分娩を利用する患者の受療動態

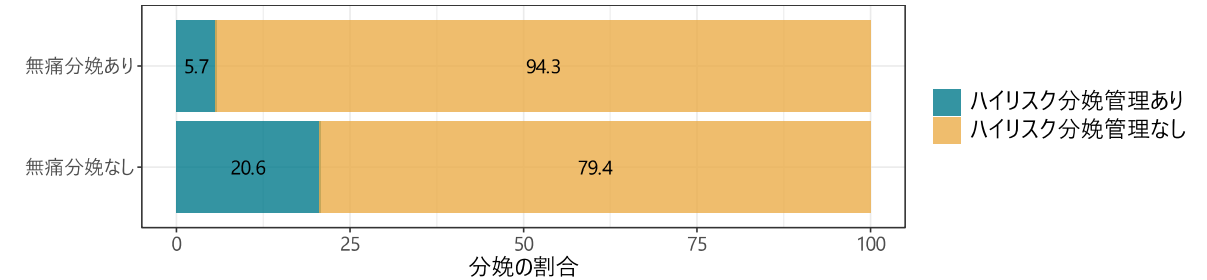
2024年の周産期医療センター等における無痛分娩の実施状況、無痛分娩を選択した妊婦の背景、および無痛分娩後の母児の短期転帰を報告した。

ブロック内外および他県からの無痛分娩の受診状況



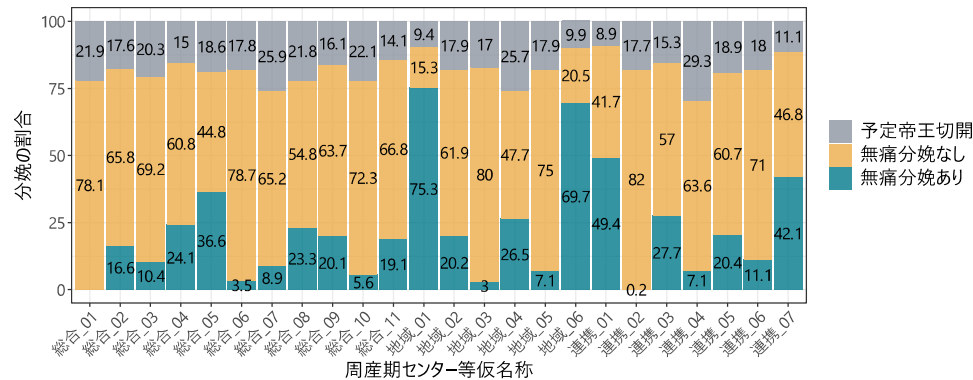
周産期搬送ブロック外の都民の分娩割合は無痛分娩の方がそれ以外の分娩より高かった。

無痛分娩におけるハイリスク分娩管理加算の算定有無



無痛分娩はそれ以外の分娩と比べてハイリスク分娩管理加算の算定があった分娩の割合は低かった。

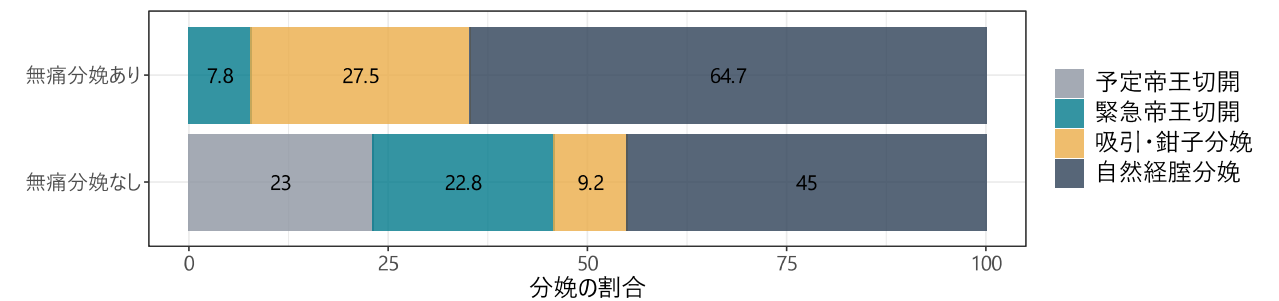
取り扱い分娩のうち無痛分娩の割合の施設分布



取り扱い分娩のうち無痛分娩の割合は医療施設間で大きく差があった。

無痛分娩と分娩方法

※「無痛分娩なし」の群には予定帝王切開や緊急帝王切開など、母親の希望に関わらず無痛分娩の適応でなかった症例も含まれています



無痛分娩における吸引・鉗子分娩の割合は27.5%であり、それ以外の分娩（無痛分娩の対象とならない予定帝王切開等を含む）と比べて高かった。

※ 2026.1.23時点での収集データ(24施設の分娩18,756件)の分析結果である。

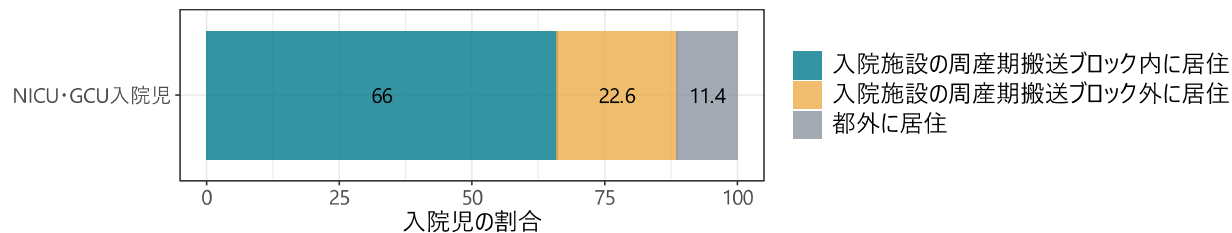
※ 本調査結果の結果を解釈する際の留意点:東京都においては分娩のおおよそ3割を診療所が担っている。本調査は総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、および地域連携病院のみを対象として実施されており、診療所やこれら以外の医療機関で管理されている比較的低リスクの低い妊婦は解析から除外されている。そのため本調査の結果は妊婦の背景因子に一定の偏りを有している可能性が示唆される

【概要版】 母子医療統計を用いた臨床データ分析②

NICU等入院児等の診療実態 ・ NICU等入院児の退院後の受療動向

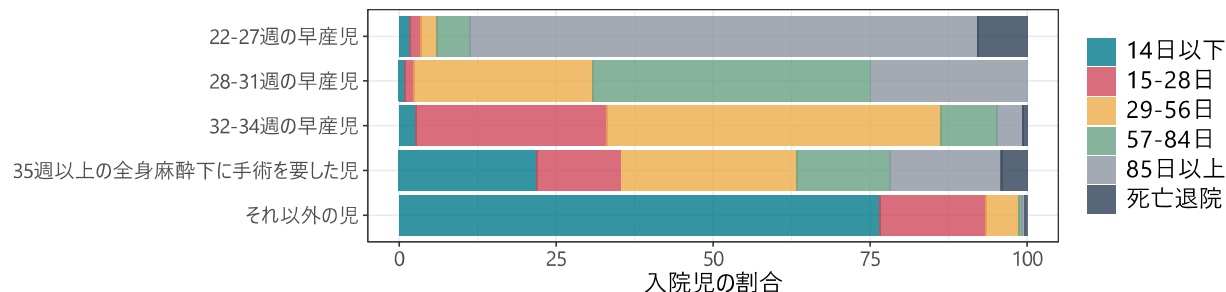
2024年に東京都内のNICU・GCUに入院した新生児の背景把握および医療資源の利用状況、地域別の受診行動の実態を報告した。

ブロック内外および他県からのNICU・GCU入院状況



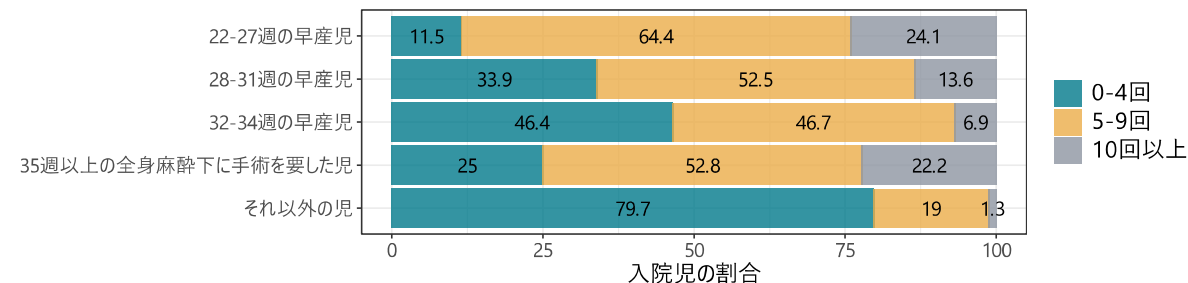
入院した児のうち、ブロック外に居住する児は22.6%、都外の住民は11.4%であった。

NICU・GCU入院児の退院時日齢



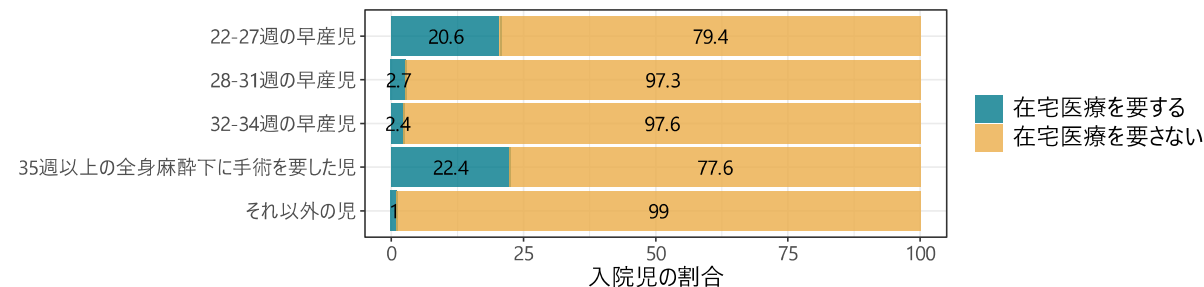
在胎28週未満で出生したNICU・GCU入院児の8割は生後85日以降での退院であった一方、在胎35週以上の出生で全身麻酔下の手術を要さなかったNICU・GCU入院児の8割は生後14日以内の退院であった。

退院後の通院回数(退院後6か月迄) ※自宅退院後6か月までのデータがある児に限る



退院後の通院回数は28週未満の早産児と35週以上で全身麻酔下の手術を要したNICU・GCU入院児で高かった。

在宅医療の実施 ※自宅退院した児に限る



在宅医療の実施率は28週未満の早産児と35週以上で全身麻酔下の手術を要したNICU・GCU入院児で2割と高かった。

※ 2026.1.23時点での収集データ(18施設 NICU/GCU 入院4,268件)の分析結果である。

※ 本調査結果の結果を解釈する際の留意点:東京都においては分娩のおおよそ3割を診療所が担っている。本調査は総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、および地域連携病院のみを対象として実施されており、診療所やこれら以外の医療機関で出生したのちにNICUに入院となった児は解析から除外されている。そのため本調査の結果は妊婦の背景因子に一定の偏りを有している可能性が示唆される